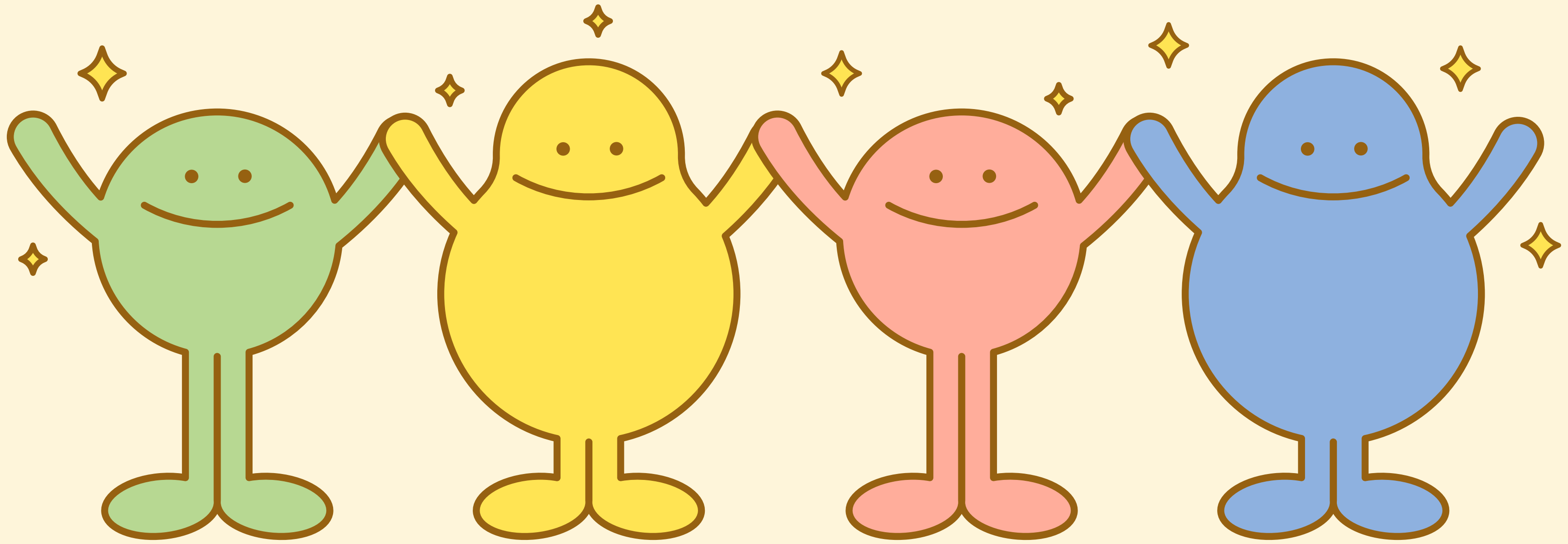
# ぐんまこどもアンケート
# 「教(おし)えて！あなたの意見(いけん)」

## 報告書(ほうこくしょ)



令和(れいわ)８年(ねん)３月(がつ)　群馬県生活(ぐんまけんせいかつ)こども課(か)　政策推進室(せいさくすいしんしつ)

# 本事業の概要

○ **目的**

特定の分野における当事者（こども・若者）の考え方やニーズを知り、これまでの県の取組の評価や、今後の参考にすること

○ **回答者（34名）**

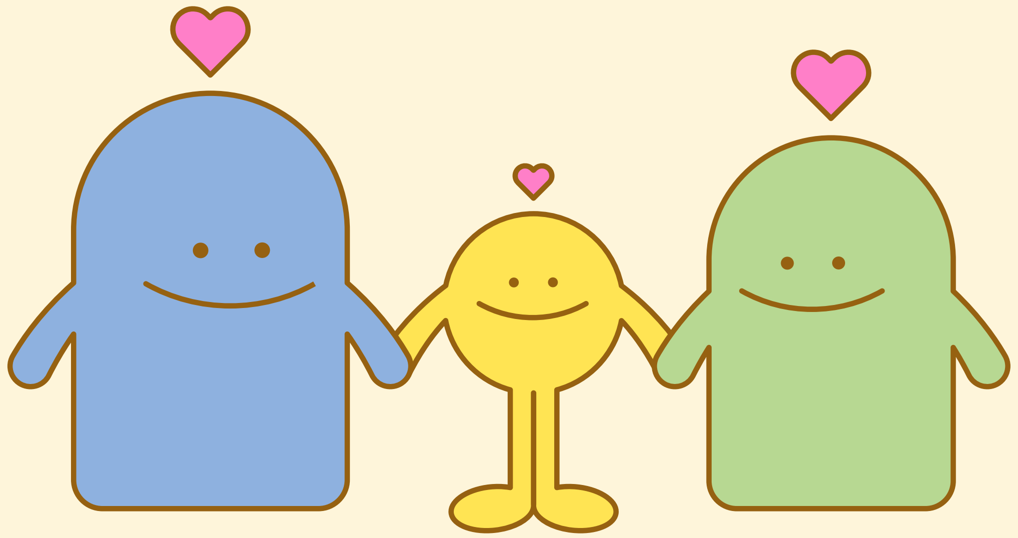
日本語の指導をうける外国ルーツのこども・若者（８名）
無料学習支援を利用するこども・若者（11名）
通級指導教室を利用するこども・若者（７名）
不登校の経験があるこども・若者（８名）

○ **実施期間**

令和７年９月～令和８年１月

○ **調査手法**

①オンラインまたは書面によるアンケート
②対面での座談会（意見交換）



※「こども」「若者」は、それぞれ「こども基本法」「こども大綱」において、次のとおりとされています

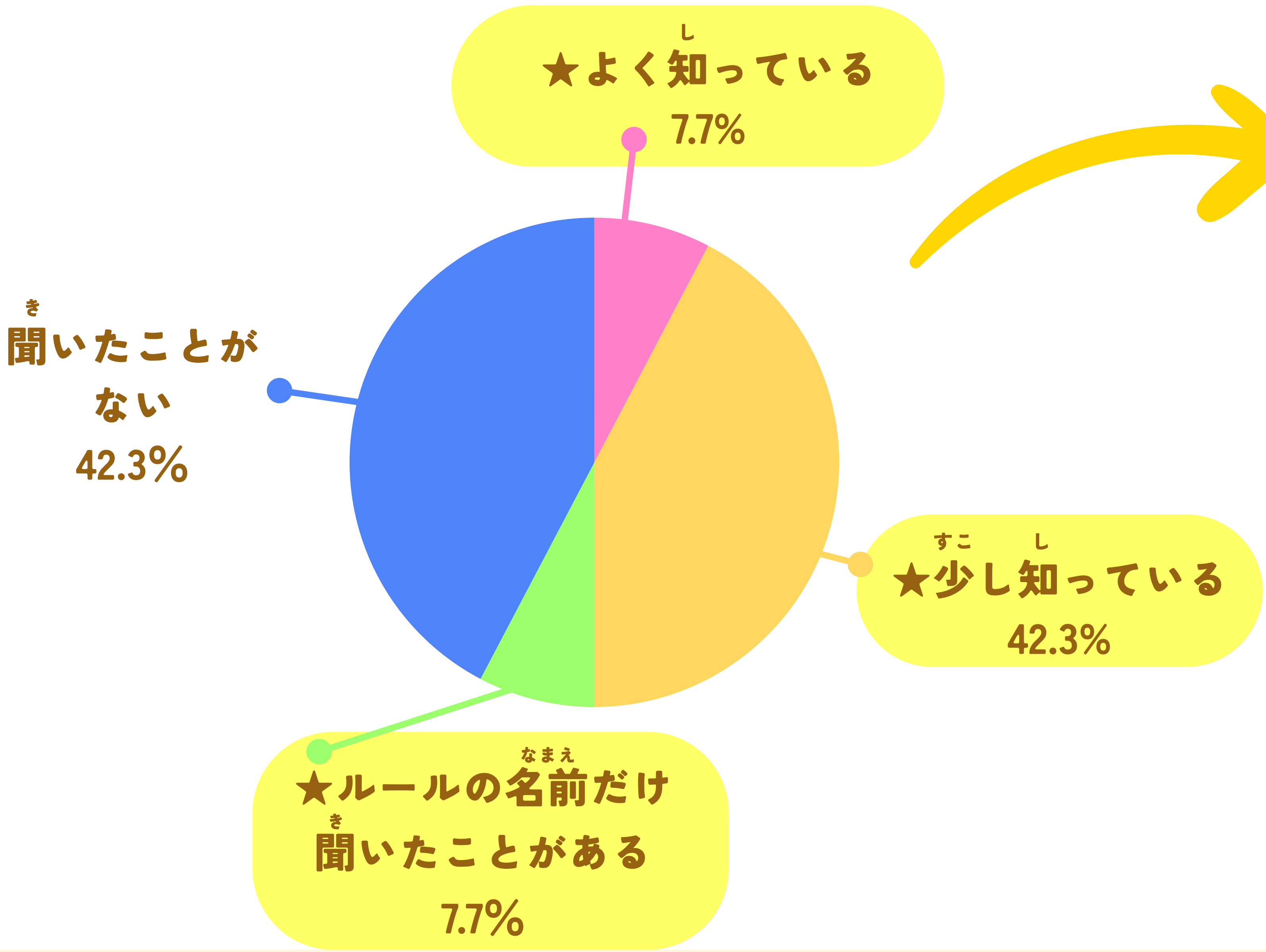
・こども：心身の発達の過程にある者。年齢による定義なし
・若　者：思春期（中学生年代～おおむね18歳）・青年期（18歳以降～30歳未満）にある者

# 共通項目

※対面により意見聴取した分野を除く

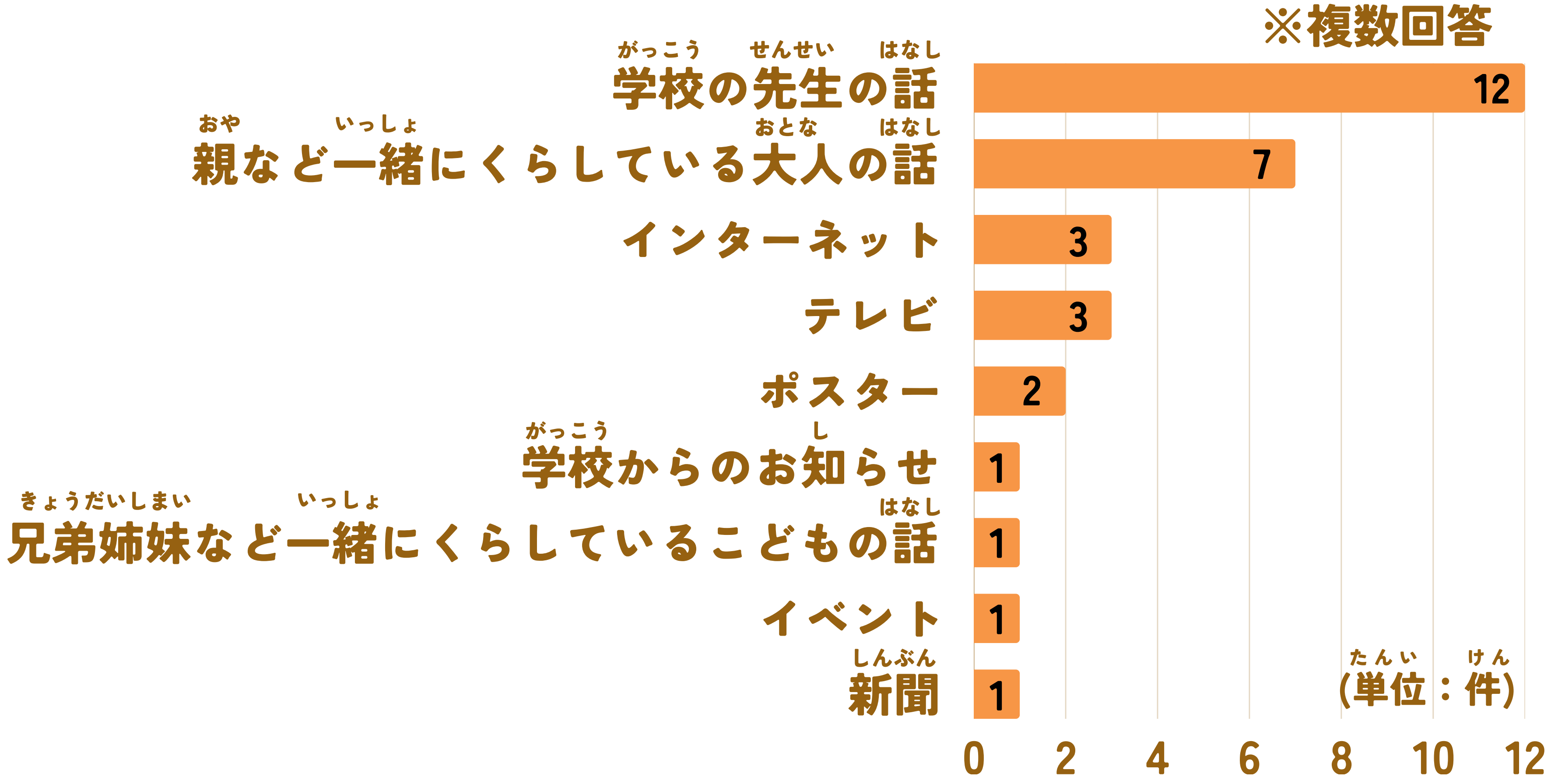
## 1.こどもの権利について

①「こどもや若者が、自分の気持ちや考えを伝えること」を大切にするためのルールがあることを知っていますか？※たとえば、「子どもの権利条約」「こども基本法」があります。




★左のグラフで「よく知っている」「少し知っている」「ルールの名前だけ聞いたことがある」人が知ったきっかけ

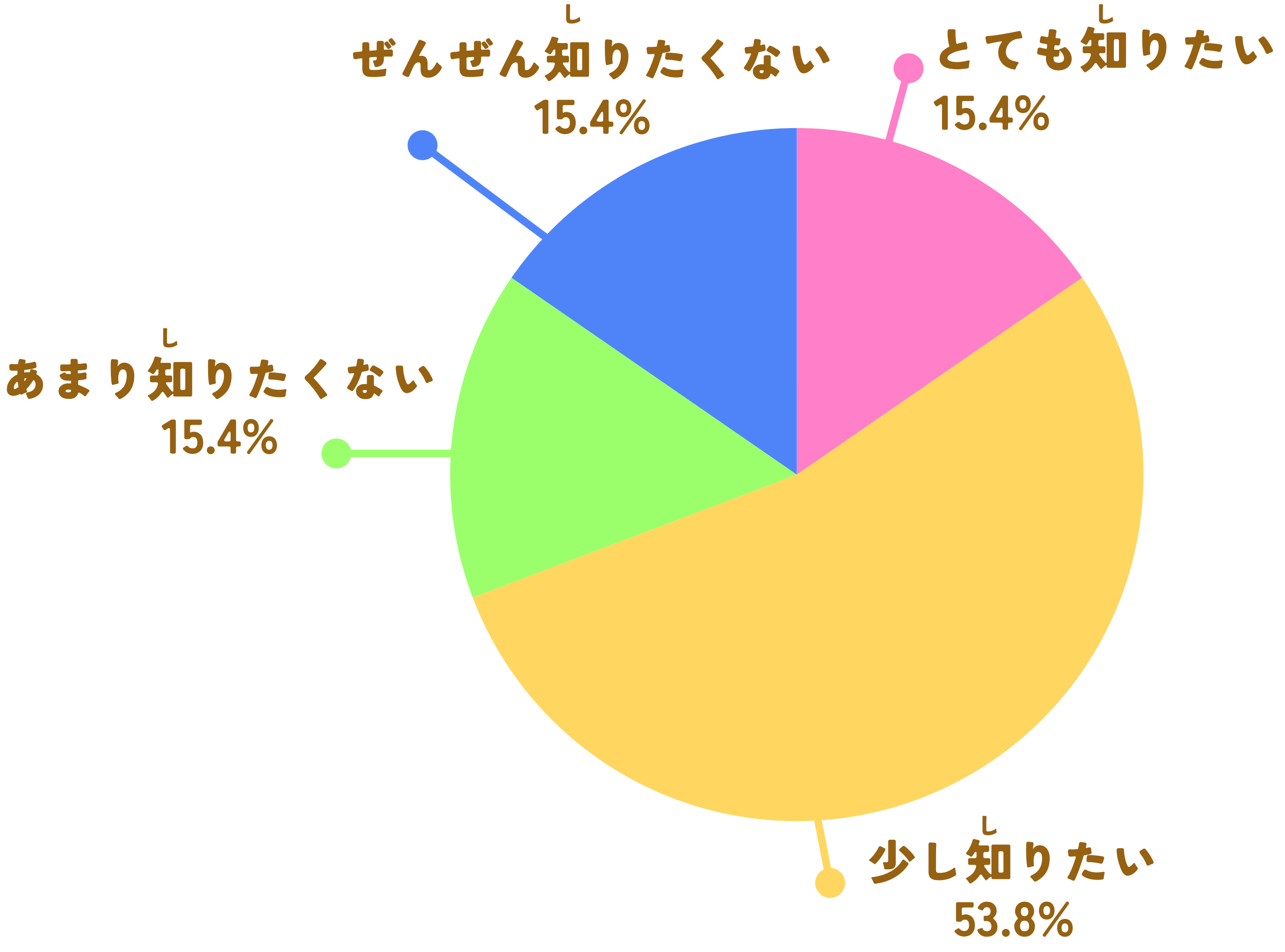
※複数回答



# 共通項目

※対面により意見聴取した分野を除く

## ②「こどもや若者が、自分の気持ちや考えを伝えること」を大切にするためのルール（「子どもの権利条約」や「こども基本法」）について どれくらい知りたいですか？



### ちょこっとメモ

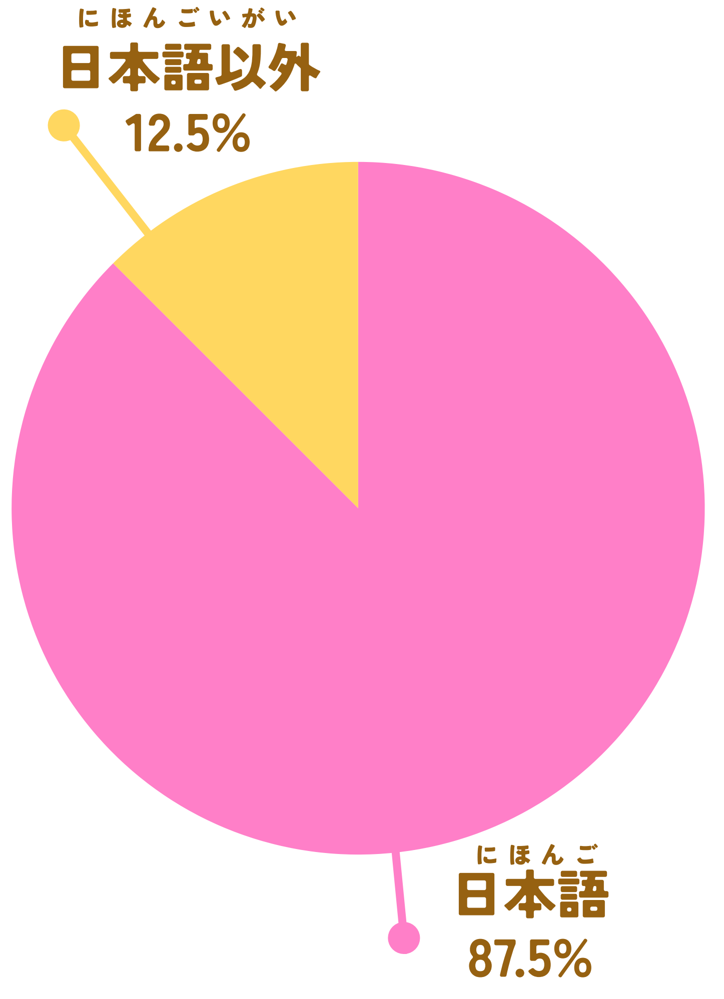
群馬県では、「こども基本法」をもとに、こどもの権利を重視した「ぐんまこどもビジョン2025」という計画を作り、取り組んでいます。群馬のこどもたちの生活をよりよくしていくため、みなさんの声をたくさん聴かせてください。

こども向けの「やさしい版」もあります

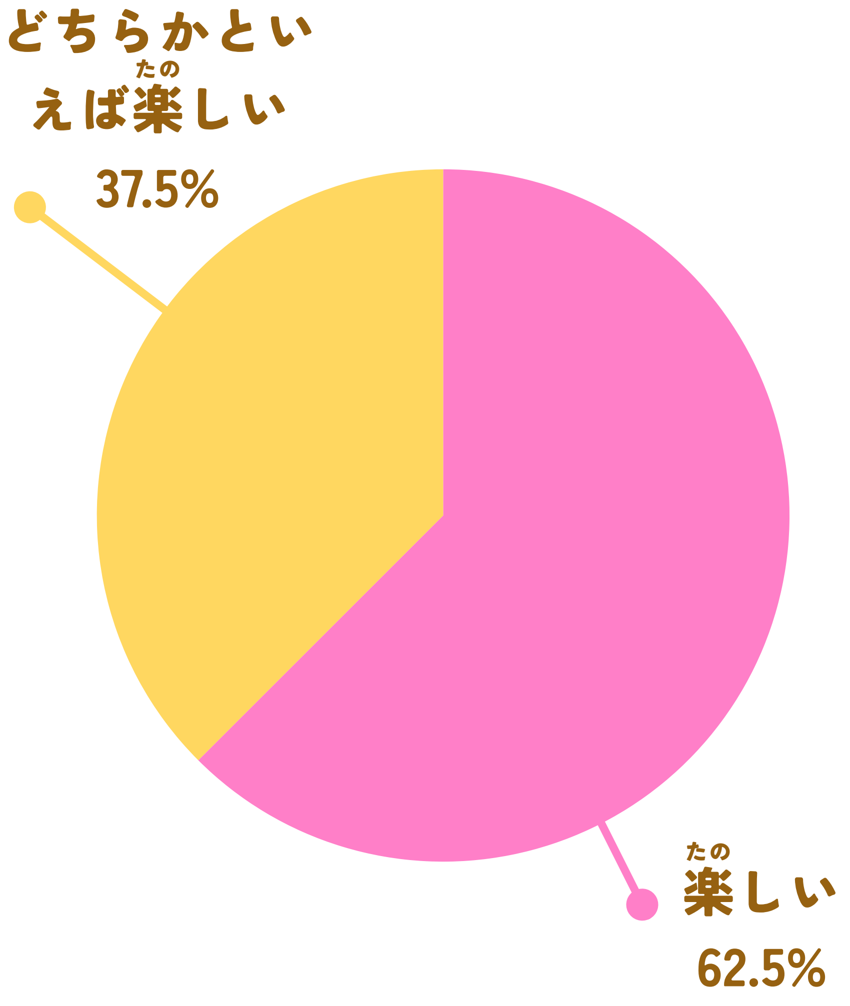
# 分野別項目：日本語の指導をうける外国ルーツのこども・若者

## 1.日本語教育について

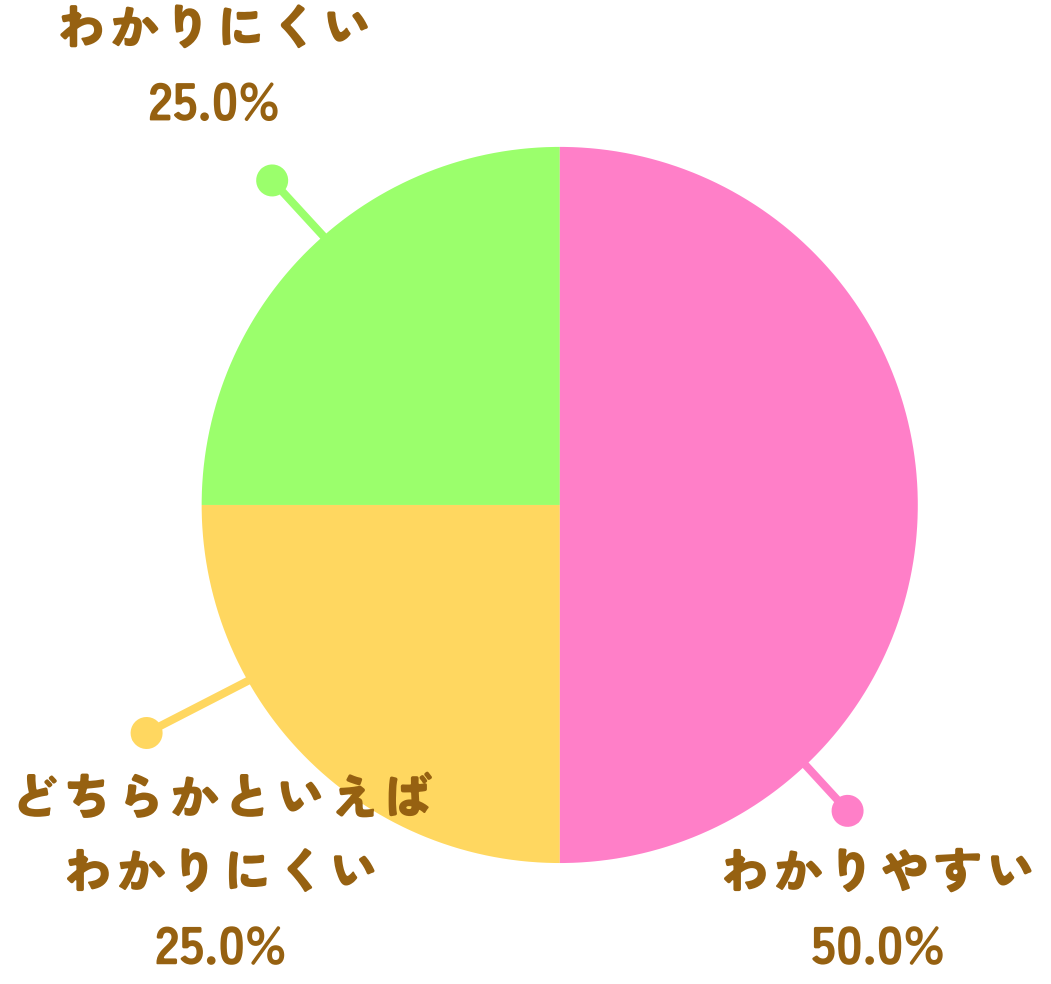
### ①学校でいちばんよく使うのはどちらの言葉ですか？




### ②学校でしている日本語の勉強についてどう感じますか？




### ③学校での日本語の教え方はわかりやすいですか？

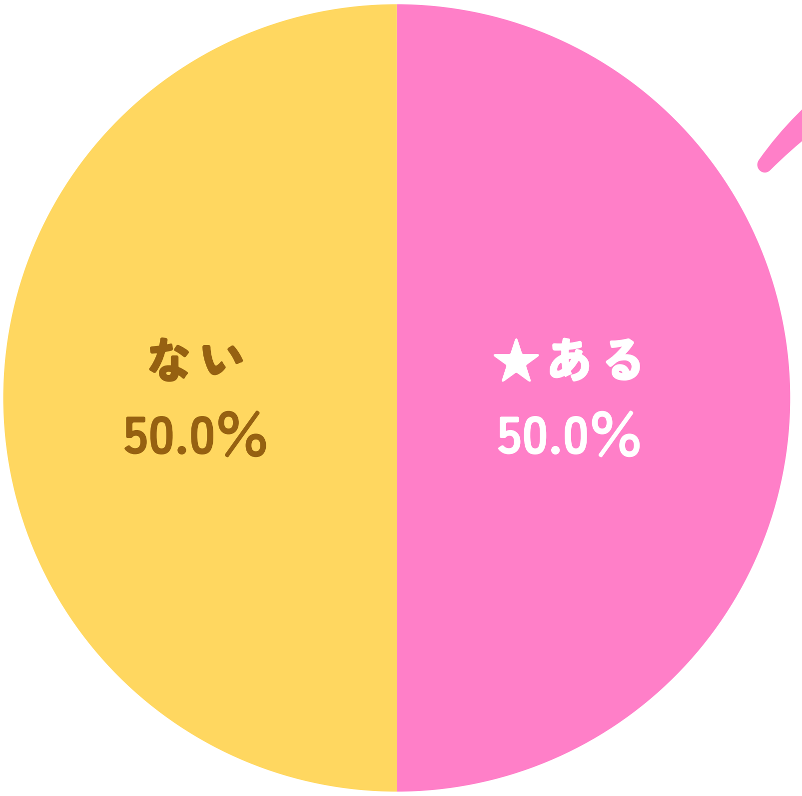



※このアンケートは、外国人住民が少ない地域の小学校や中学校に通うこども・若者に対して行いました。

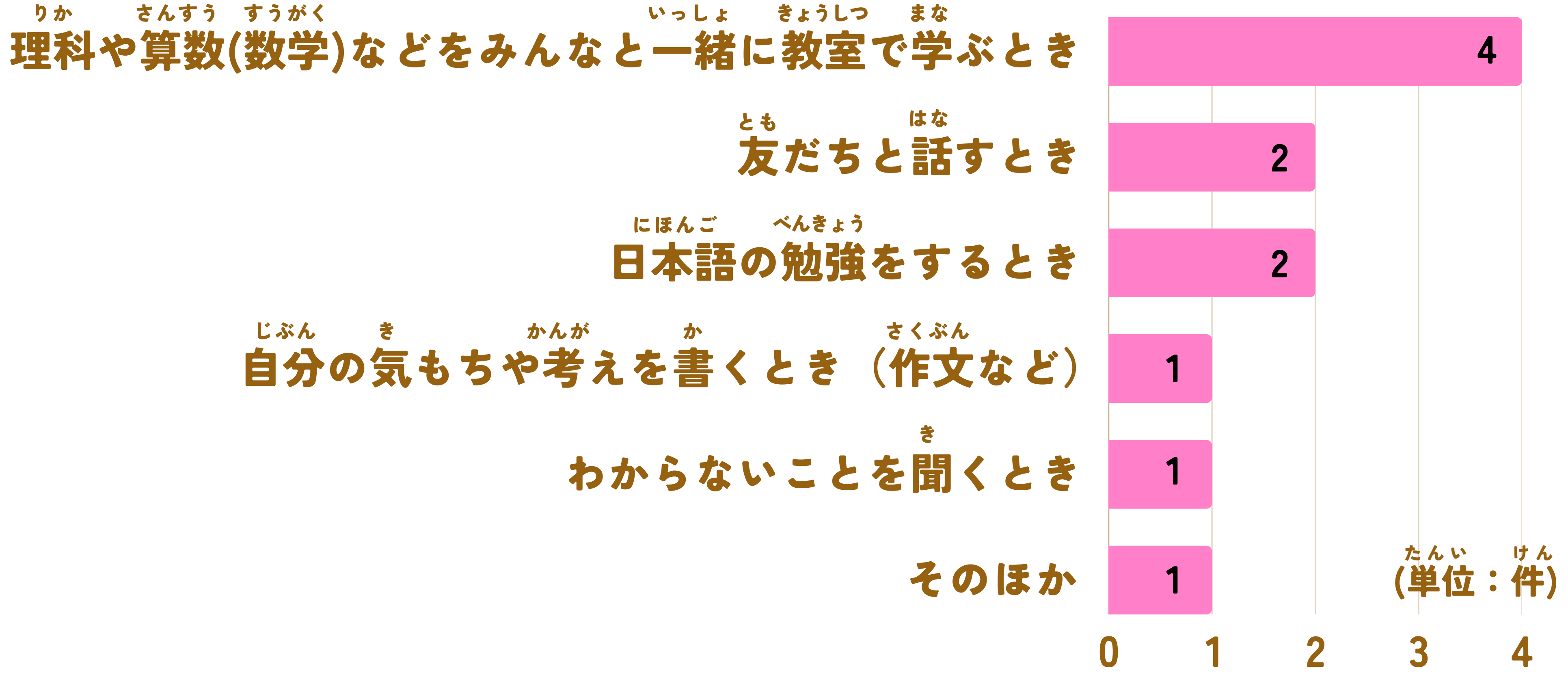
# 分野別項目：日本語の指導をうける外国ルーツのこども・若者

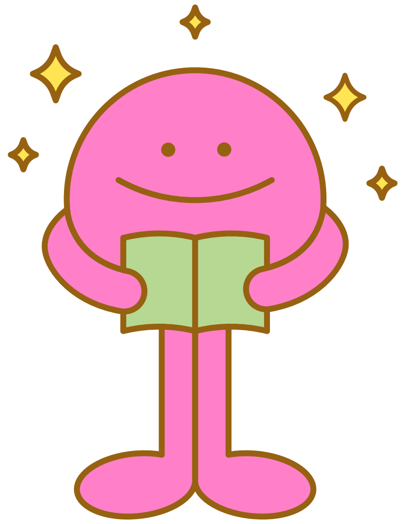
## 2.学校生活について

### ①学校で、母語を使えるといいなと思うことはありますか？




★左のグラフで「ある」人が回答。
どんなときに、母語を使えるといいなと思いますか？　※複数回答



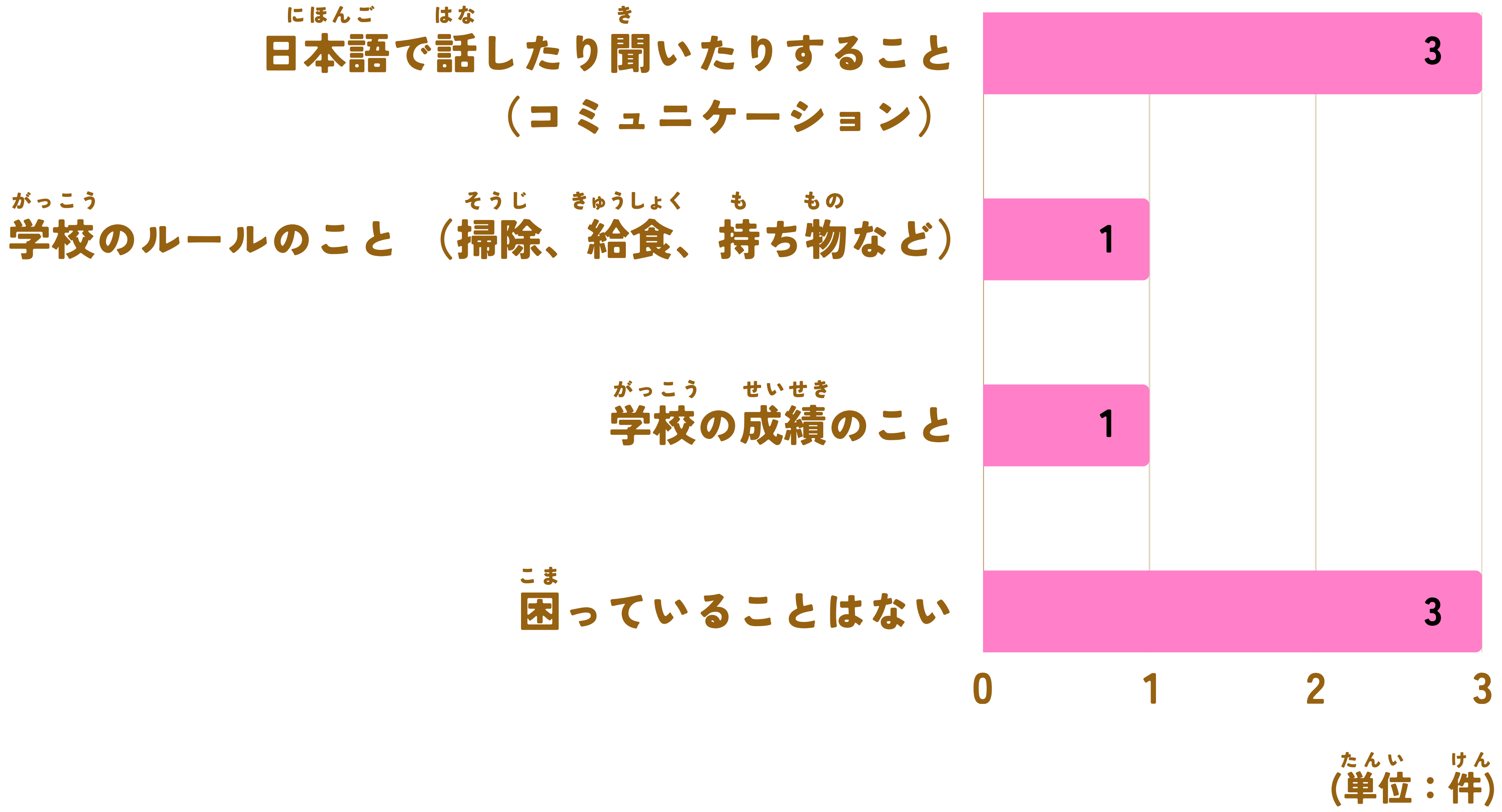



※そのほか・・・日本語で伝えるのに伝え方がわからないとき

# 分野別項目：日本語の指導をうける外国ルーツのこども・若者

## ②学校で生活するうえで困っていることはありますか？

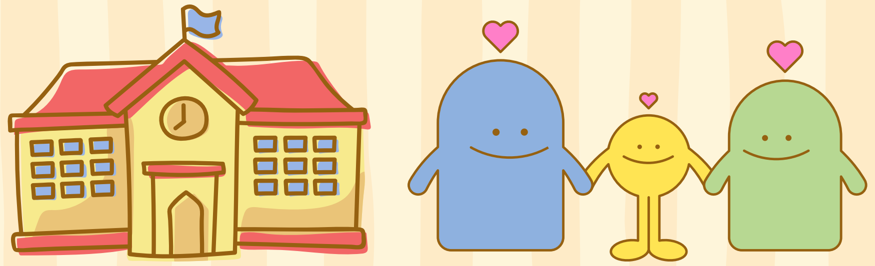
※複数回答




### ちょこっとメモ

群馬県の「ぐんまこどもビジョン2025」では、「外国人のこども・若者とその家族への支援」も大切にしています。

たとえば、学校で日本語を学ぶための体制づくりのほか、学校のことや親子関係で悩むこどもや保護者が、心理の専門家に母語で相談できるカウンセリング制度があります。

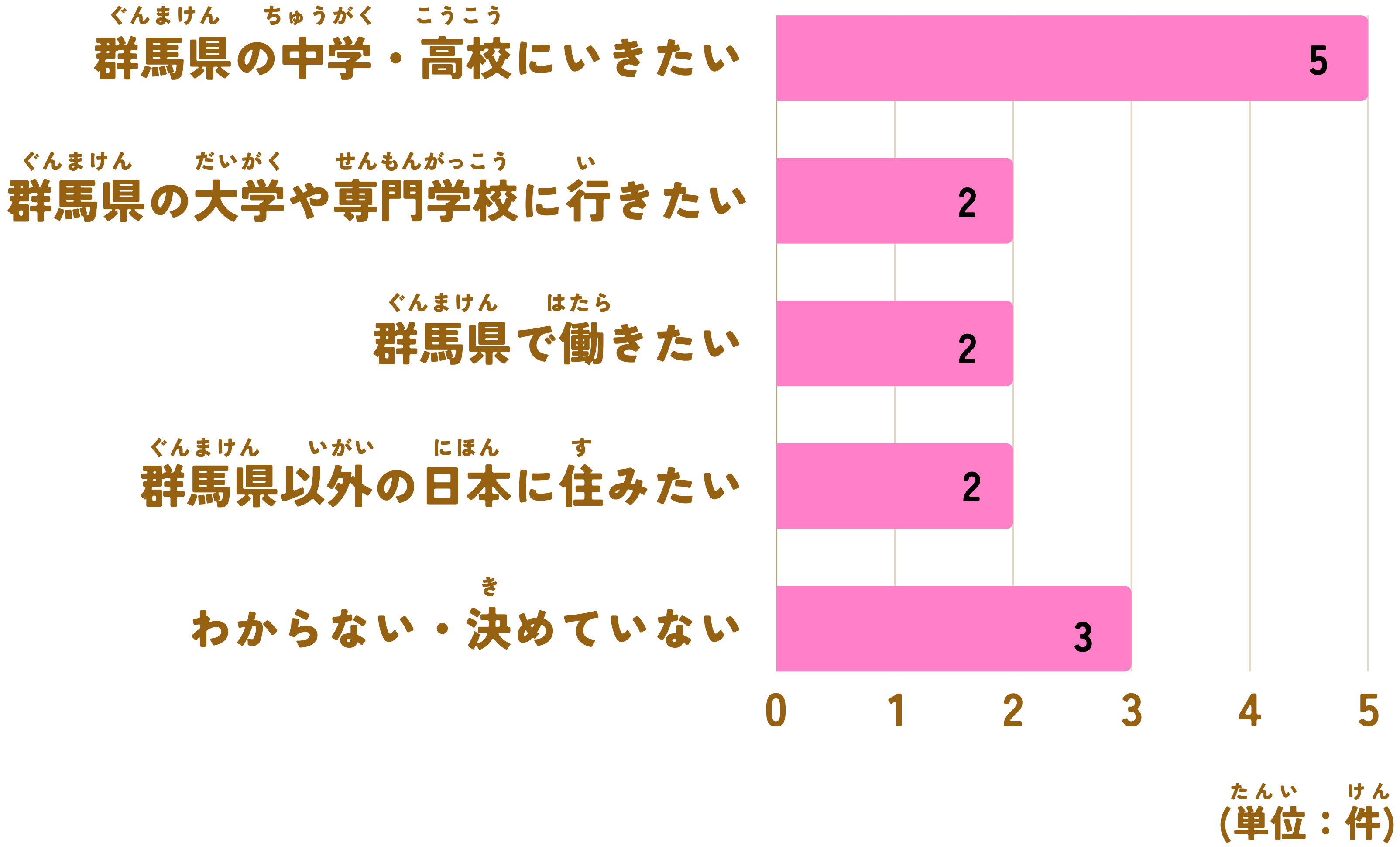


# 分野別項目：日本語の指導をうける外国ルーツのこども・若者

## 3.将来のことについて

### ①これから先も、群馬県の学校に行ったり、群馬県で働いたりしたいと思いますか？

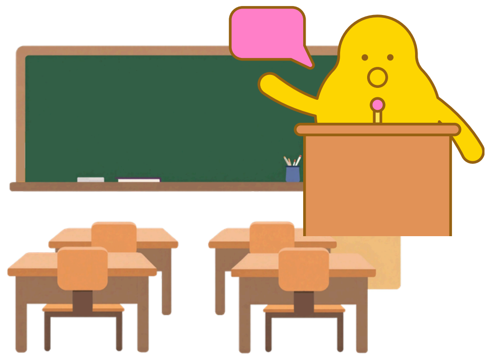
※複数回答




### ②大人になったらどんな仕事をしてみたいですか？

【いただいた意見】

- パイロット
- フライトアテンダント
- 先生
- ライフセーバー
- 会社につとめたい

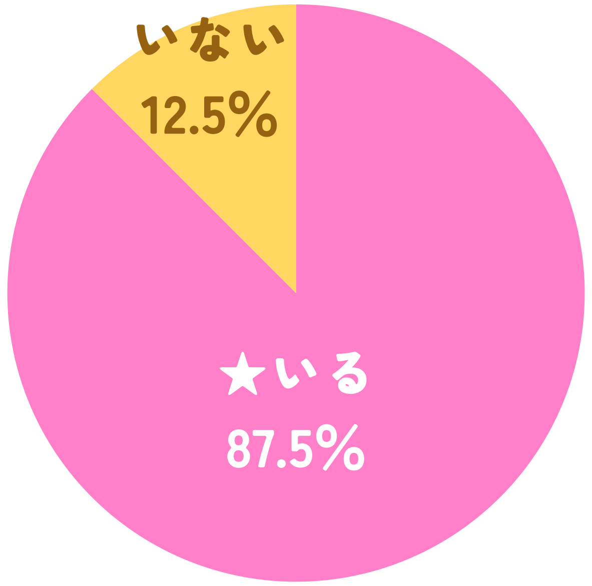


※外国語で回答していただいた意見は、日本語訳しています

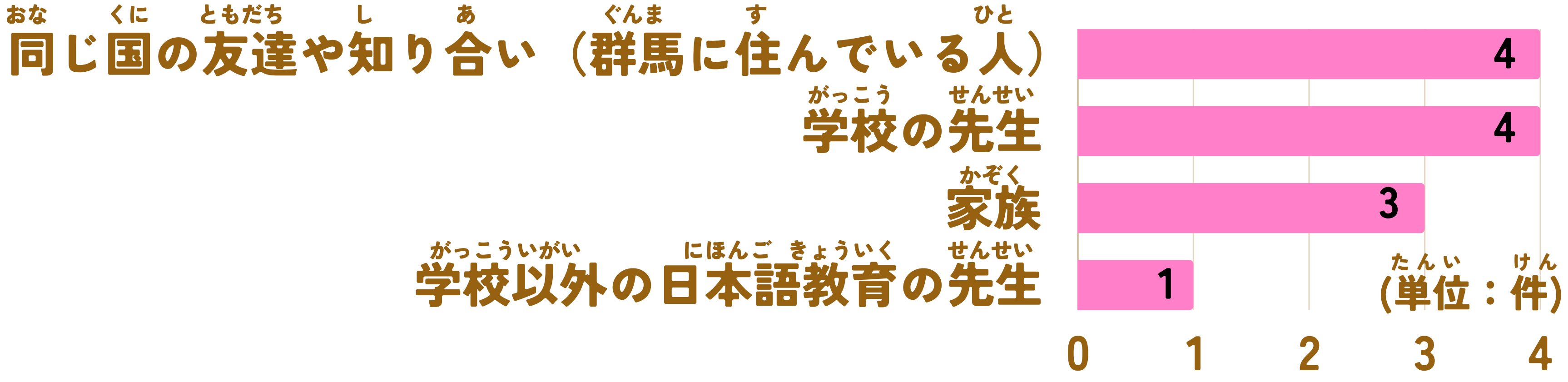
# 分野別項目：日本語の指導をうける外国ルーツのこども・若者

## 4.困りごとがあったときについて

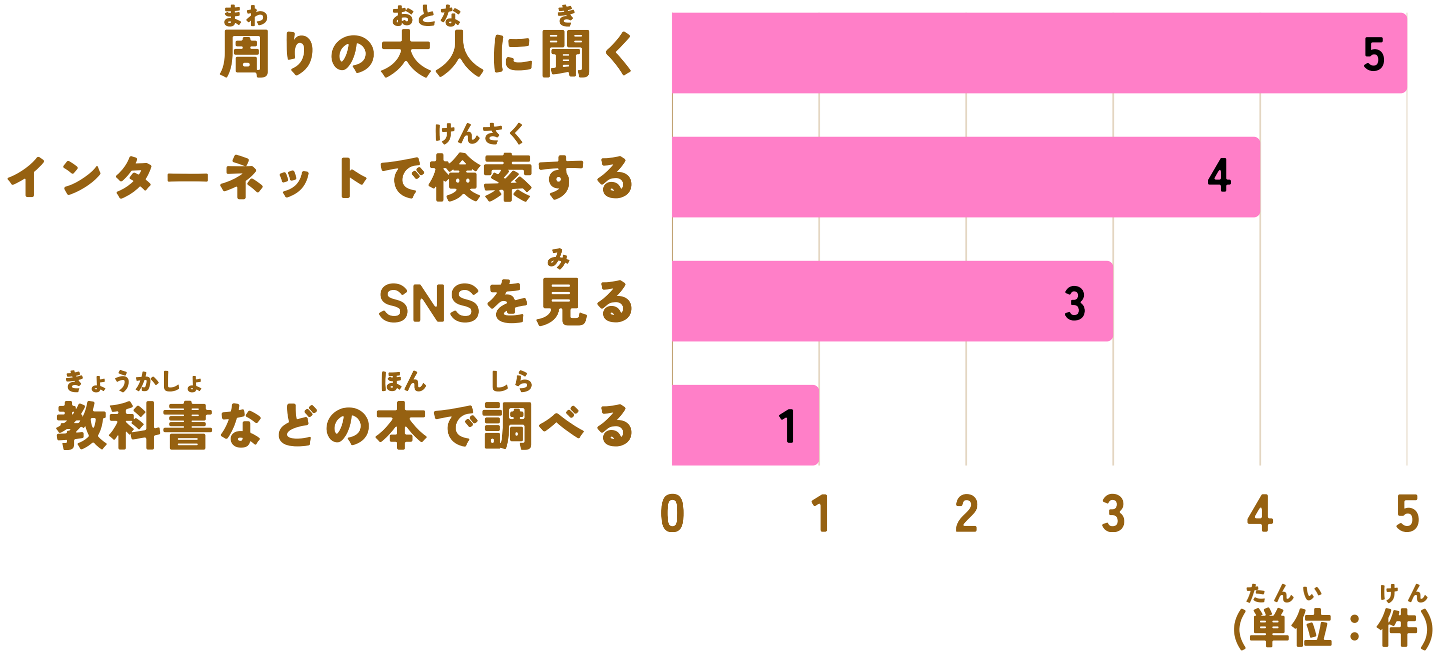
### ①困ったときに相談できる人はいますか？

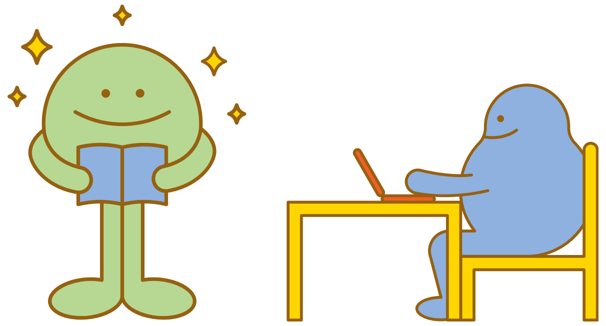



★「いる」人が回答。
その人はどんな人ですか？
※複数回答




### ②困ったときや知りたいことがあるとき、どうやって調べていますか？ ※複数回答



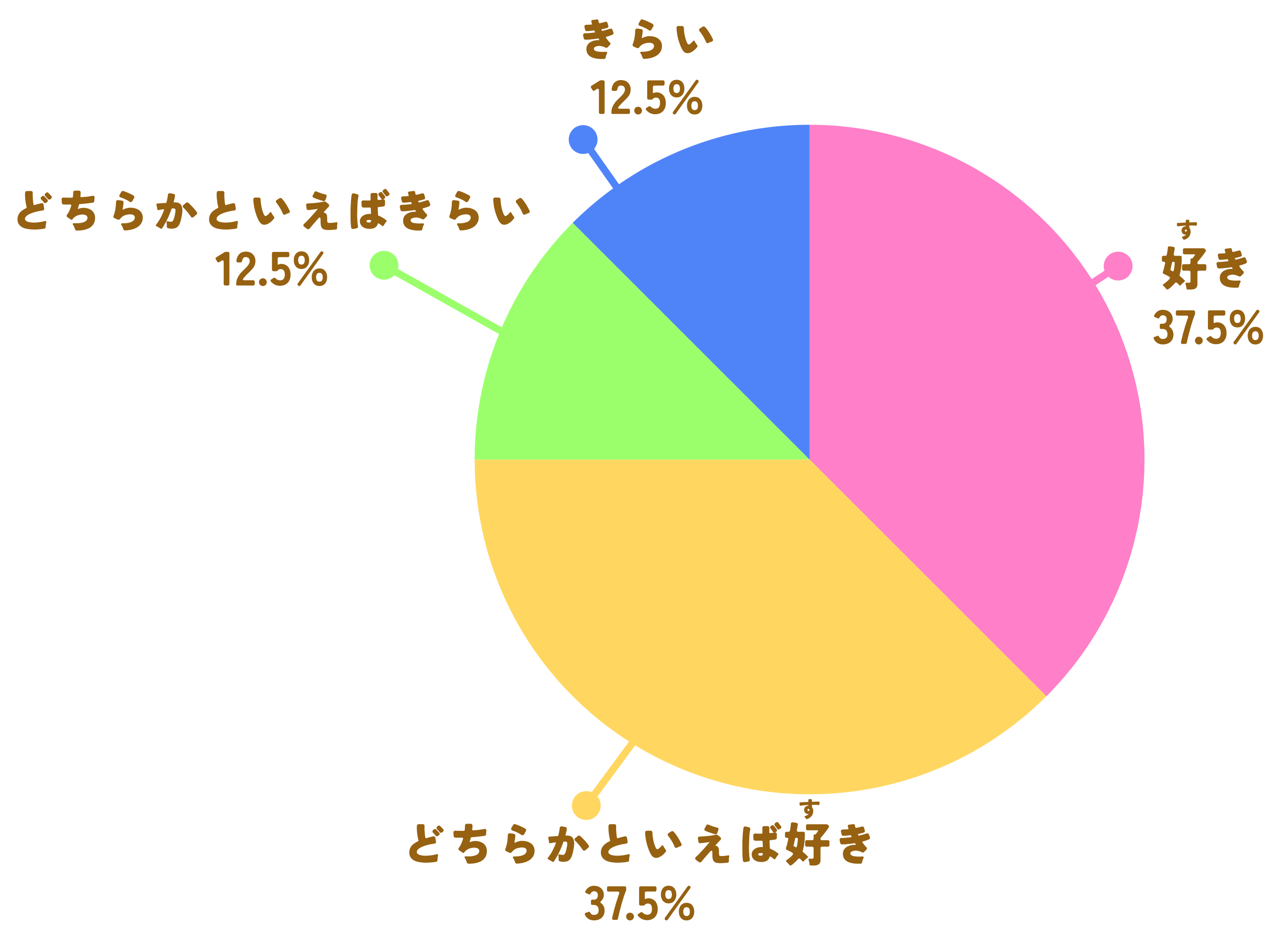



# 分野別項目：日本語の指導をうける外国ルーツのこども・若者

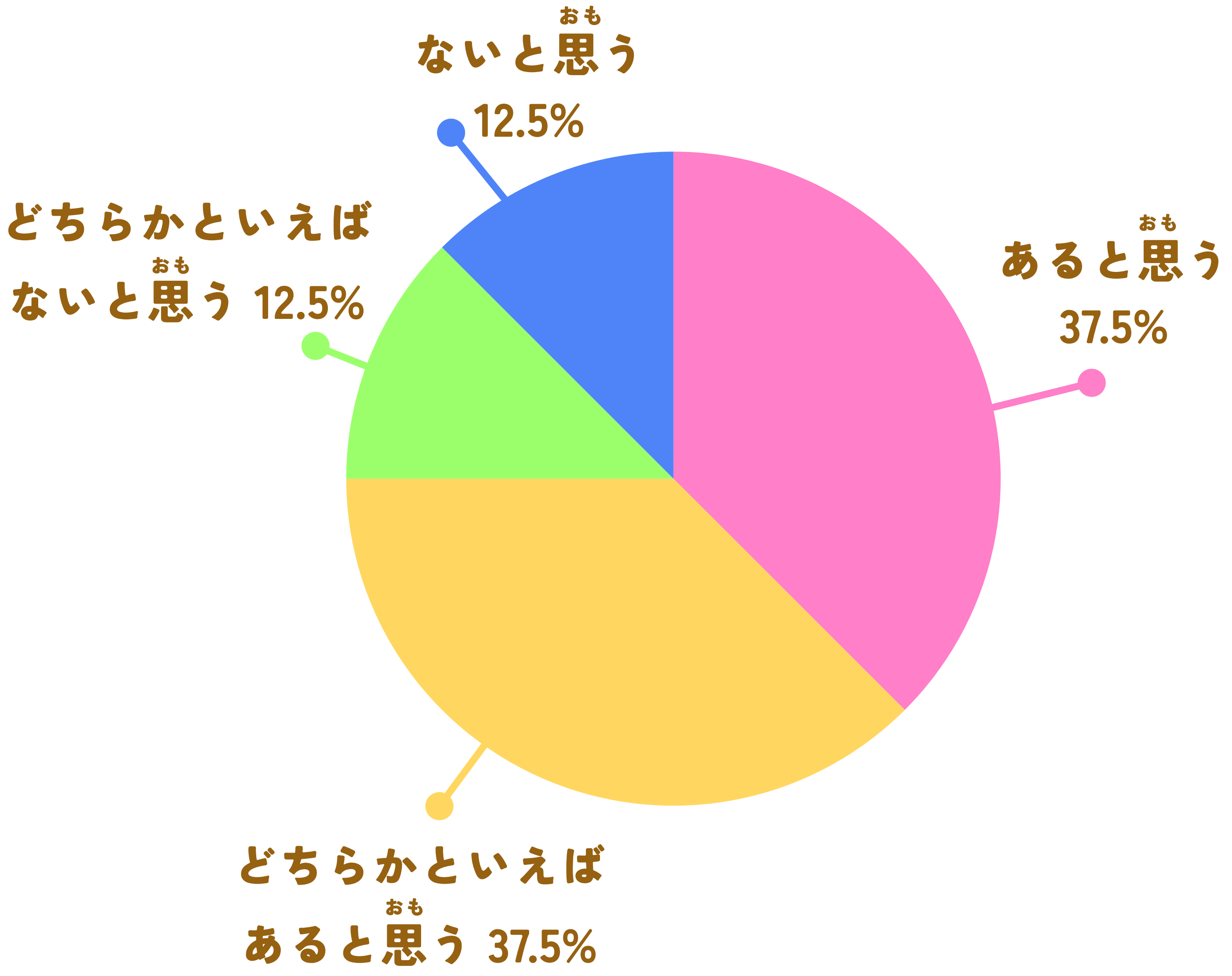
## 5.自分自身について

【備考】①と②はたまたま同じ結果になったものです

### ①あなたは自分のことが好きですか？



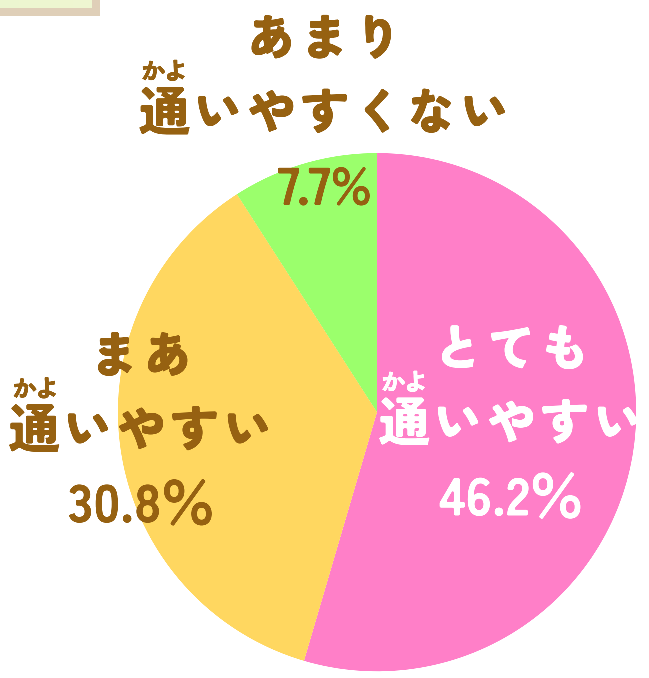

### ②あなたは自分には良いところがあると思いますか？



# 分野別項目：無料学習支援を利用するこども・若者

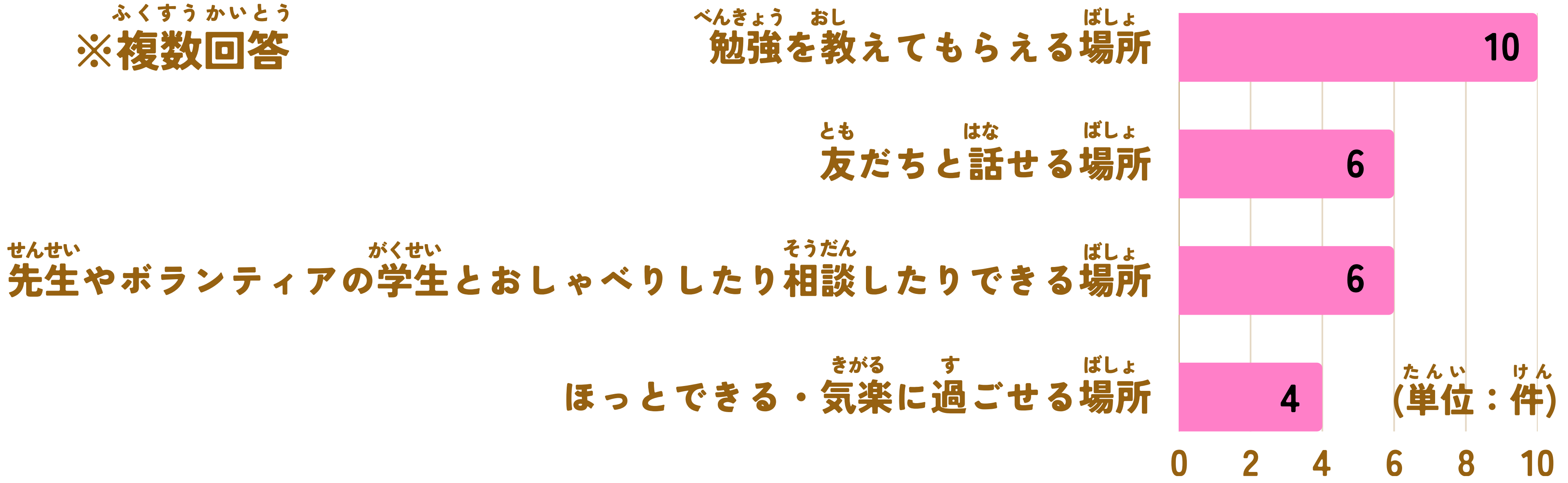
## 1.無料学習支援について

### ①学習支援教室は、通いやすい場所にありますか？

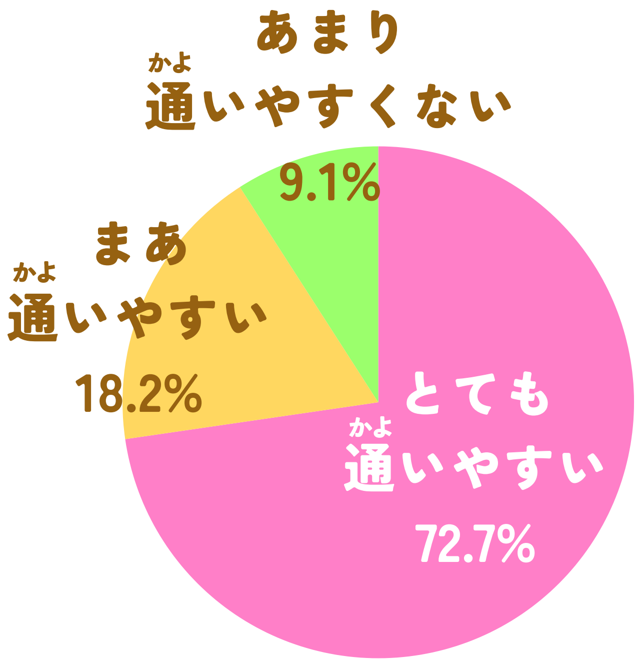



### ③学習支援教室は、あなたにとってどんな場所ですか？

※複数回答




### ②学習支援教室は、通いやすい時間に開かれていますか？




### ④学習支援教室の先生やボランティアの人のいいところは何ですか？

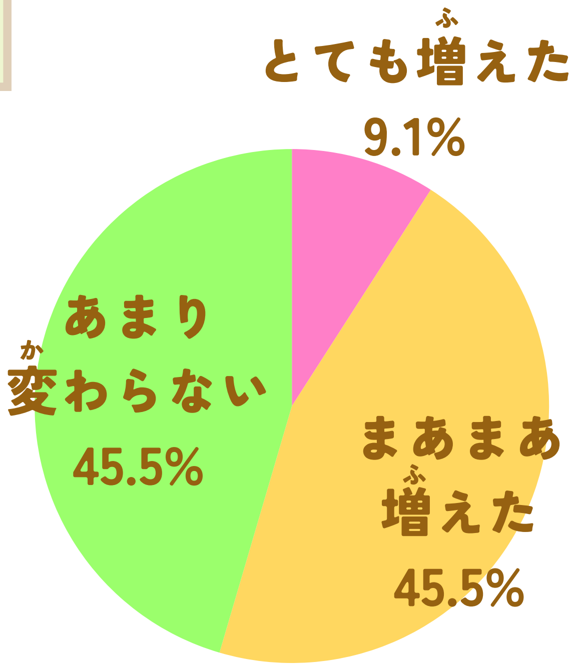
【いただいた意見（抜粋）】

- なやみをきいてくれる
- やさしいところ
- 分かりやすくおしえてもらえる
- 友達みたい
- 家ではできない、べんきょうに集中ができる

# 分野別項目：無料学習支援を利用するこども・若者

## 1.無料学習支援について

⑤学習支援を利用してから、勉強に対するやる気や興味は変わりましたか？



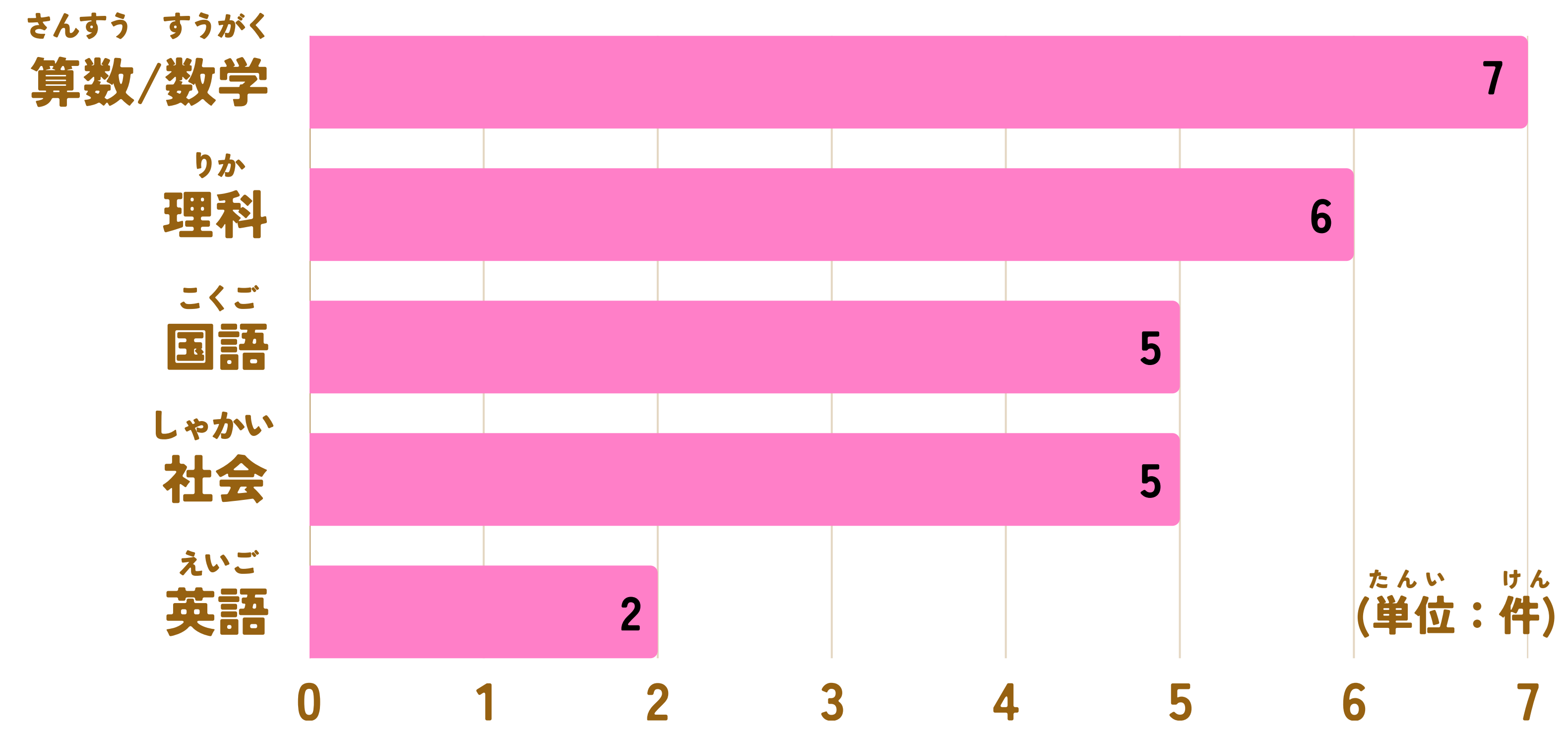

⑥学習支援について、「もっとこうだったらいい」と思うことはありますか？

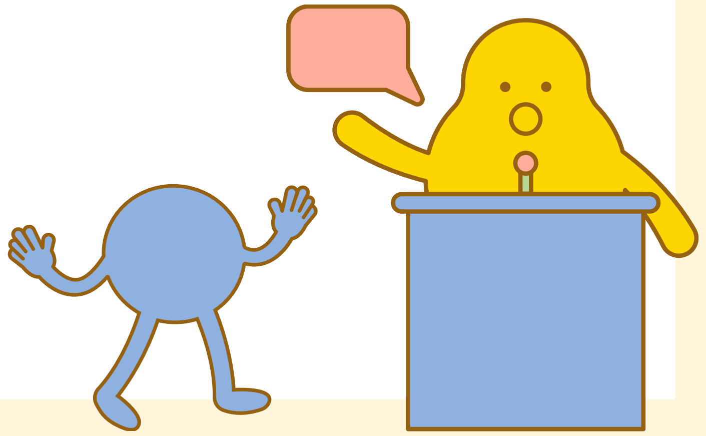
【いただいた意見】
時間が９時までになってほしい
（※現在は夜８時まで）

## 2.学校の勉強について

①学校の勉強で、あなたが難しいと思う教科は何ですか？

※複数回答

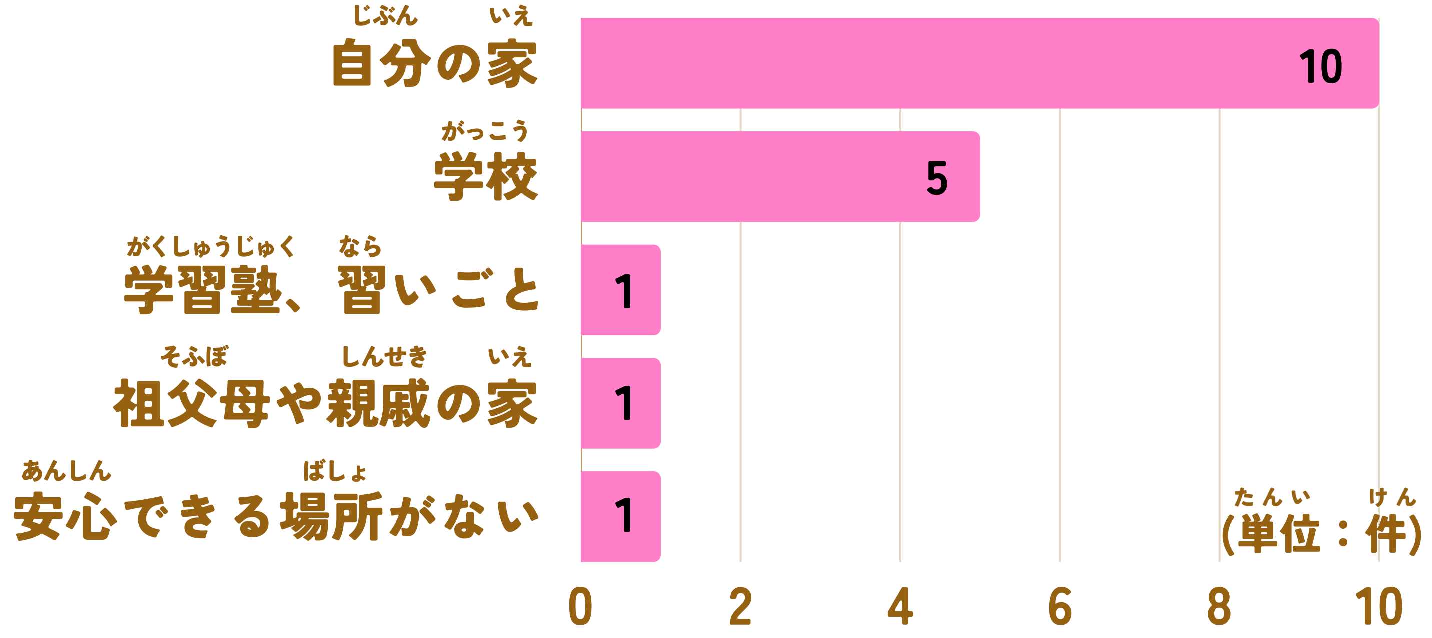


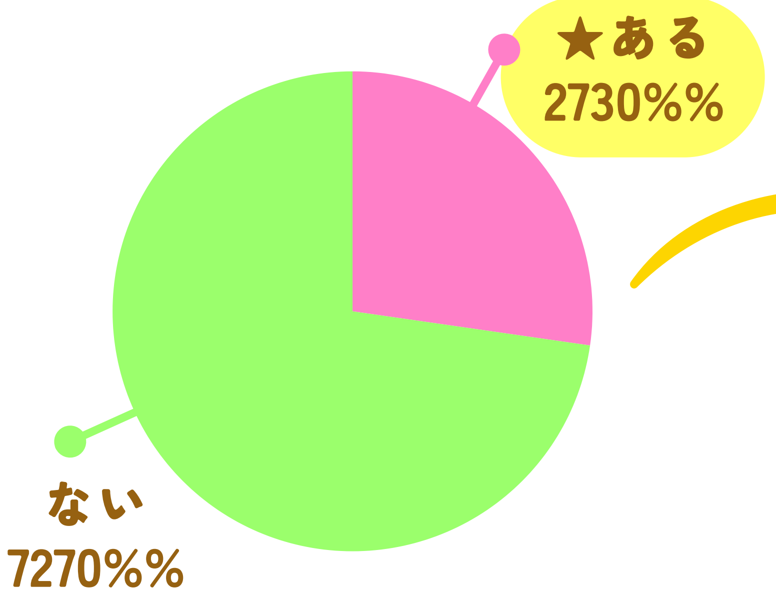
# 分野別項目：無料学習支援を利用するこども・若者

## 3.安心できる場所・相談相手について

### ①ホッとできたり緊張せずにいられる、安心できる場所はどこですか？ ※複数回答




### ②保護者（親など家にいる大人）に相談できない悩みはありますか？




★「ある」人の悩みの内容

- 友だちとの関係
- そのほか

**ちょこっとメモ**

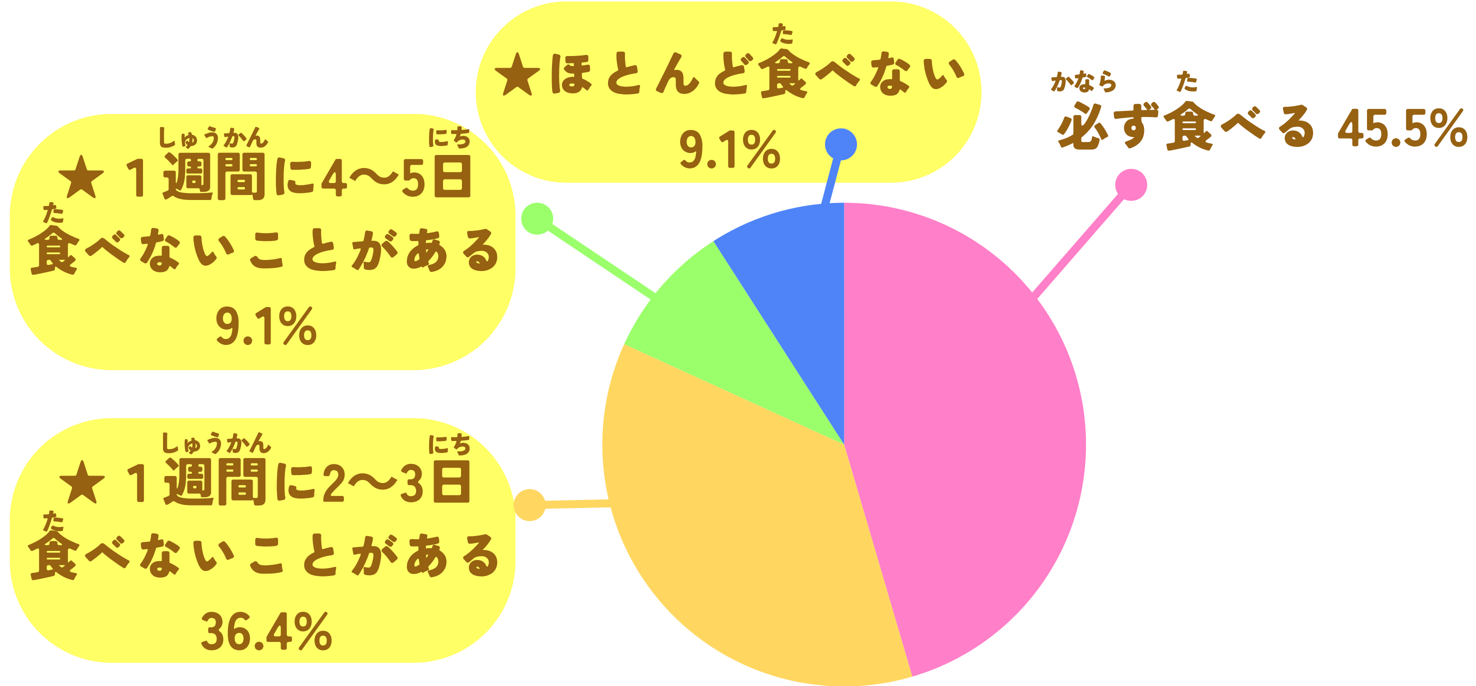
群馬県は、こどもや若者が
困ったことや悩みがあるときに、
相談できるところをまとめています。

LINEやメール、電話で相談できます
相談窓口一覧はこちら→
https://www.pref.gunma.jp/page/673573.html

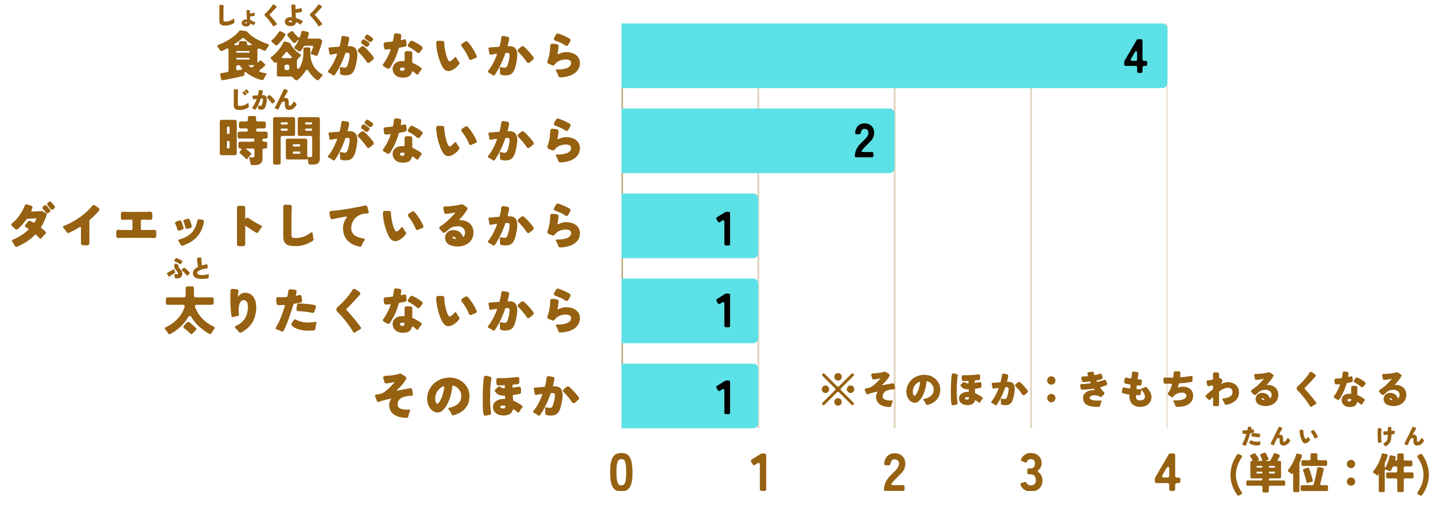
# 分野別項目：無料学習支援を利用するこども・若者

## 4.朝食について

### ①毎日朝ごはんを食べますか？

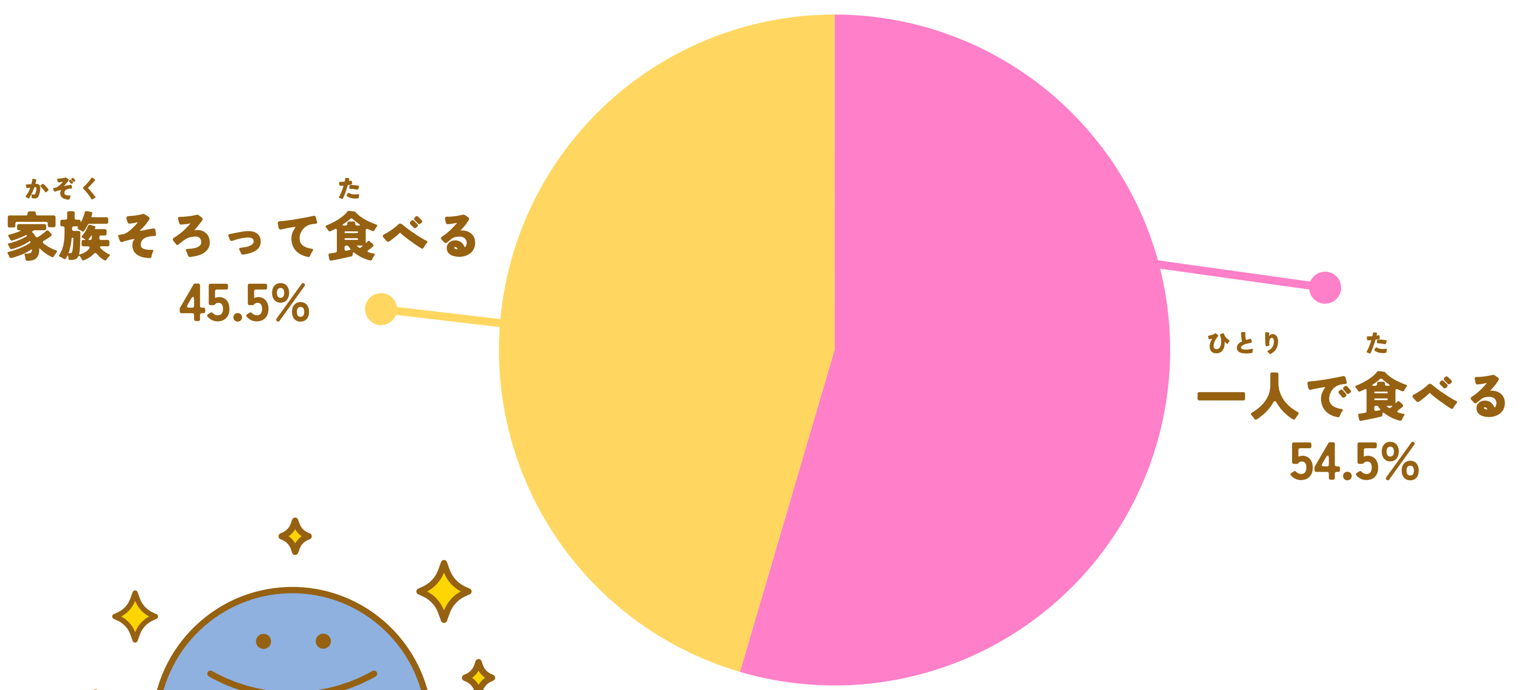


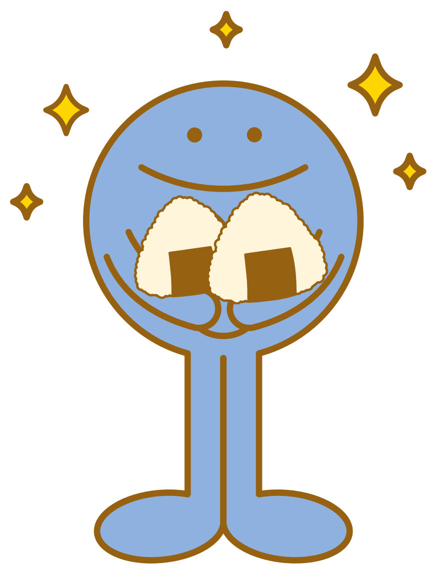

★「食べないことがある」人の朝ごはんを食べない理由 ※単一回答




※そのほか：きもちわるくなる

### ②朝ごはんのとき、いつもどのように食事をしていますか？

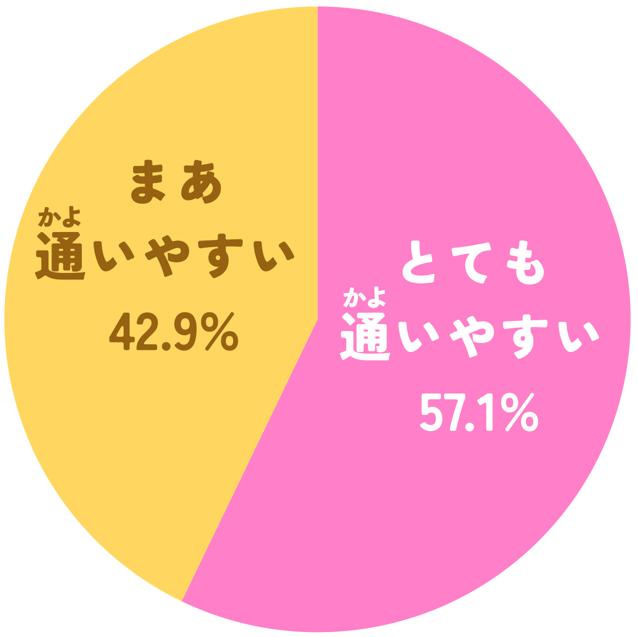


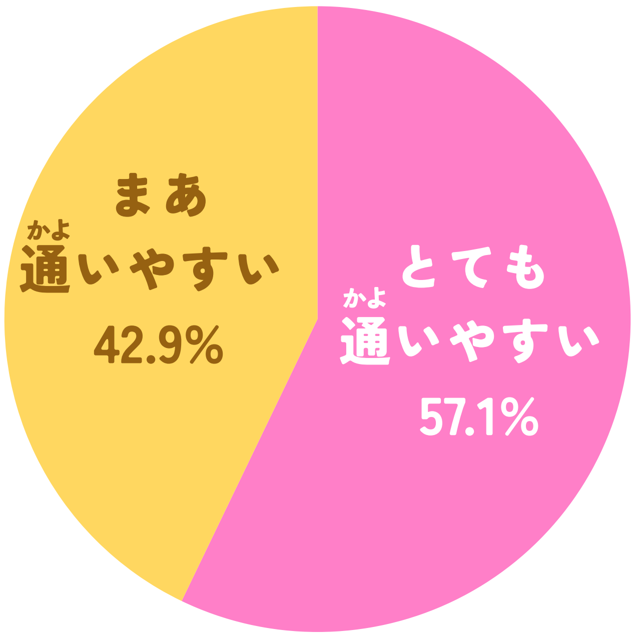
# 分野別項目：通級指導教室を利用するこども・若者

## 1.通級指導について

### ①通級指導教室は、通いやすい場所にありますか？




### ②通級指導教室は、通いやすい時間に開かれていますか？



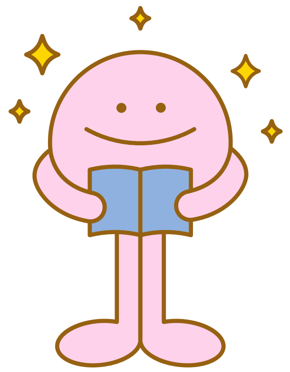

### ③通級指導を受けて「よかった」と思うことを教えてください。

※複数回答

### ④通級指導を受けていて、もっとこうだったらいいなと思うことはありますか？

【いただいた意見】

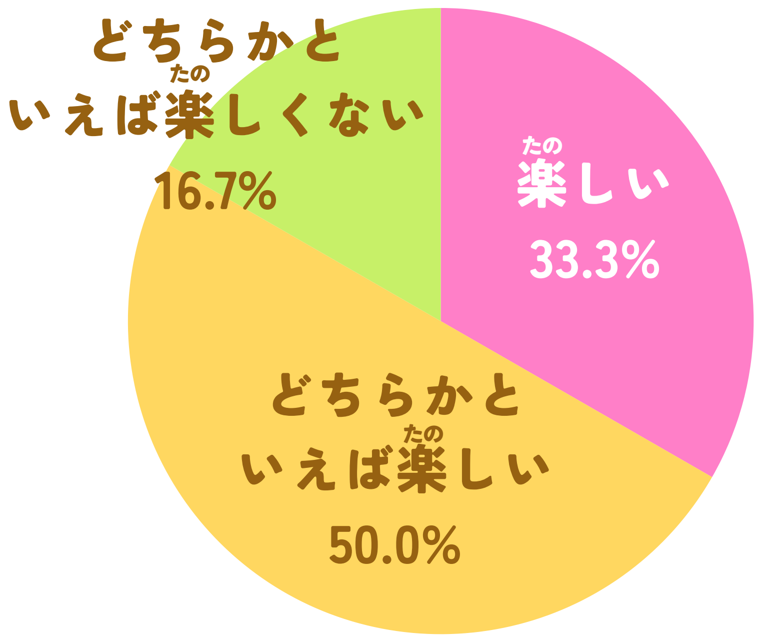
・４コマ漫画で気持ちを察する勉強は楽しい



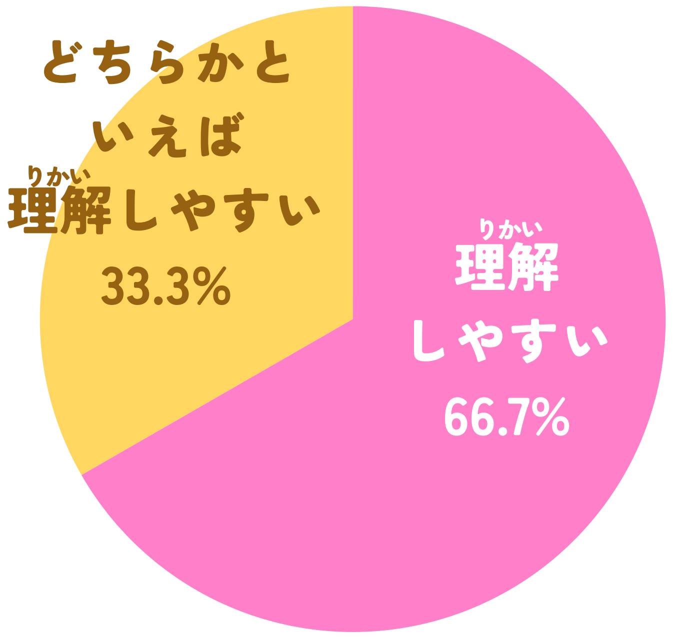
# 分野別項目：通級指導教室を利用するこども・若者

## 2.学校生活について

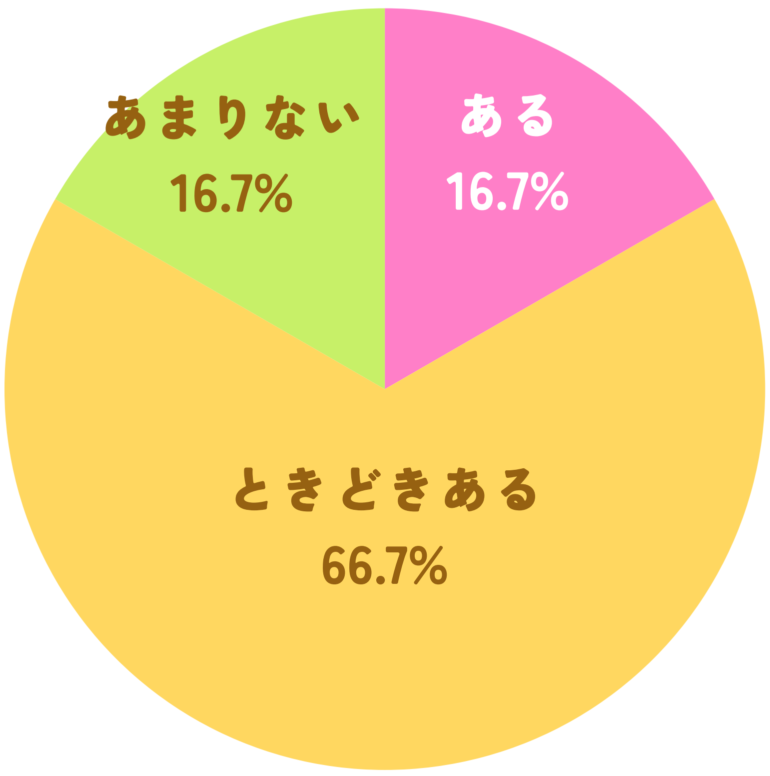
①学校生活は楽しいですか？




②学校の授業は理解しやすいですか？



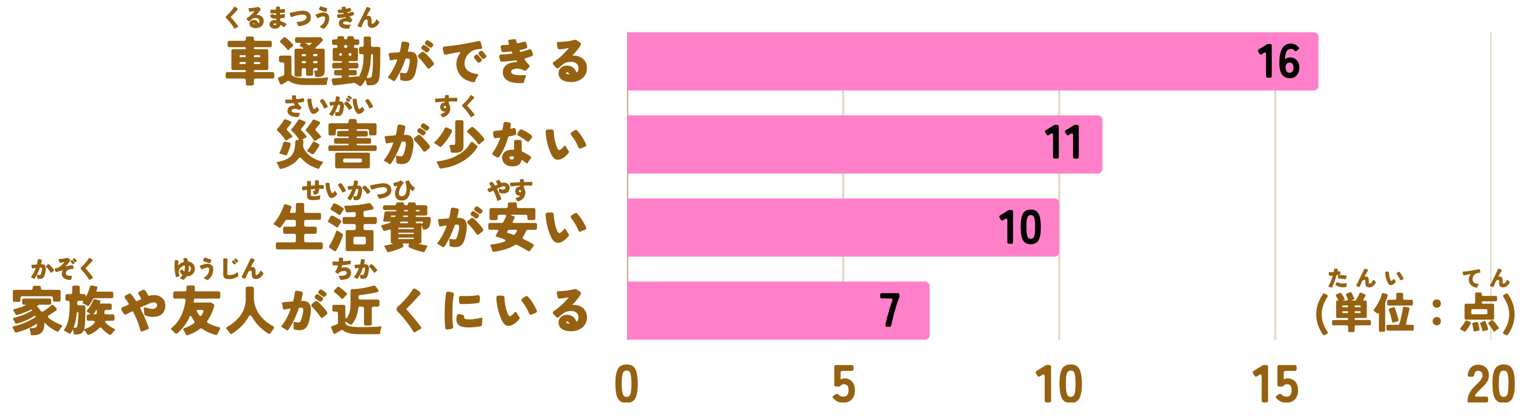

③学校の運営や校則に、生徒の意見が反映されている実感はありますか？



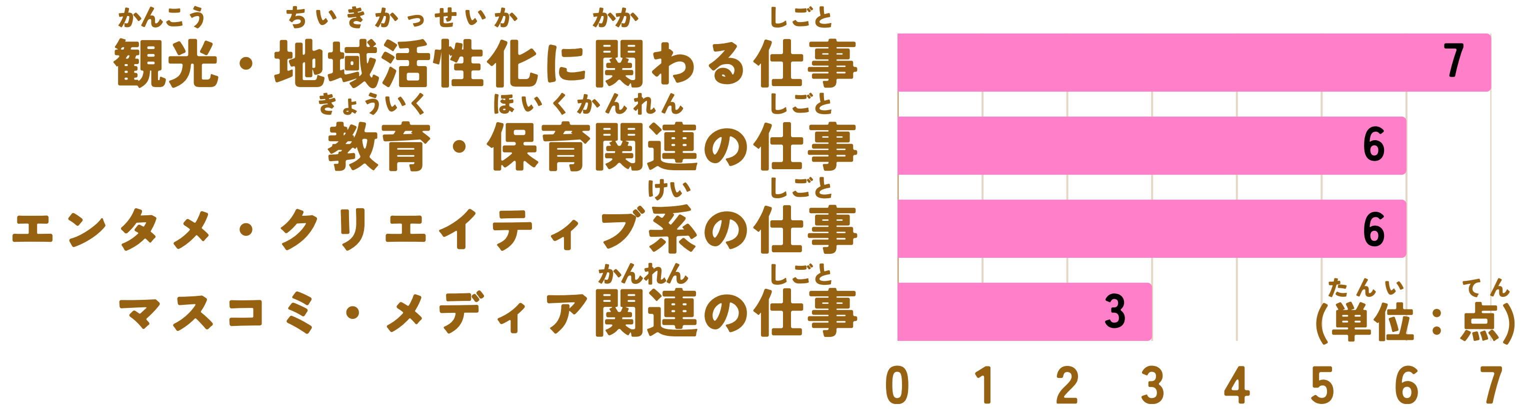
# 分野別項目：通級指導教室を利用するこども・若者

## 3.働くことについて

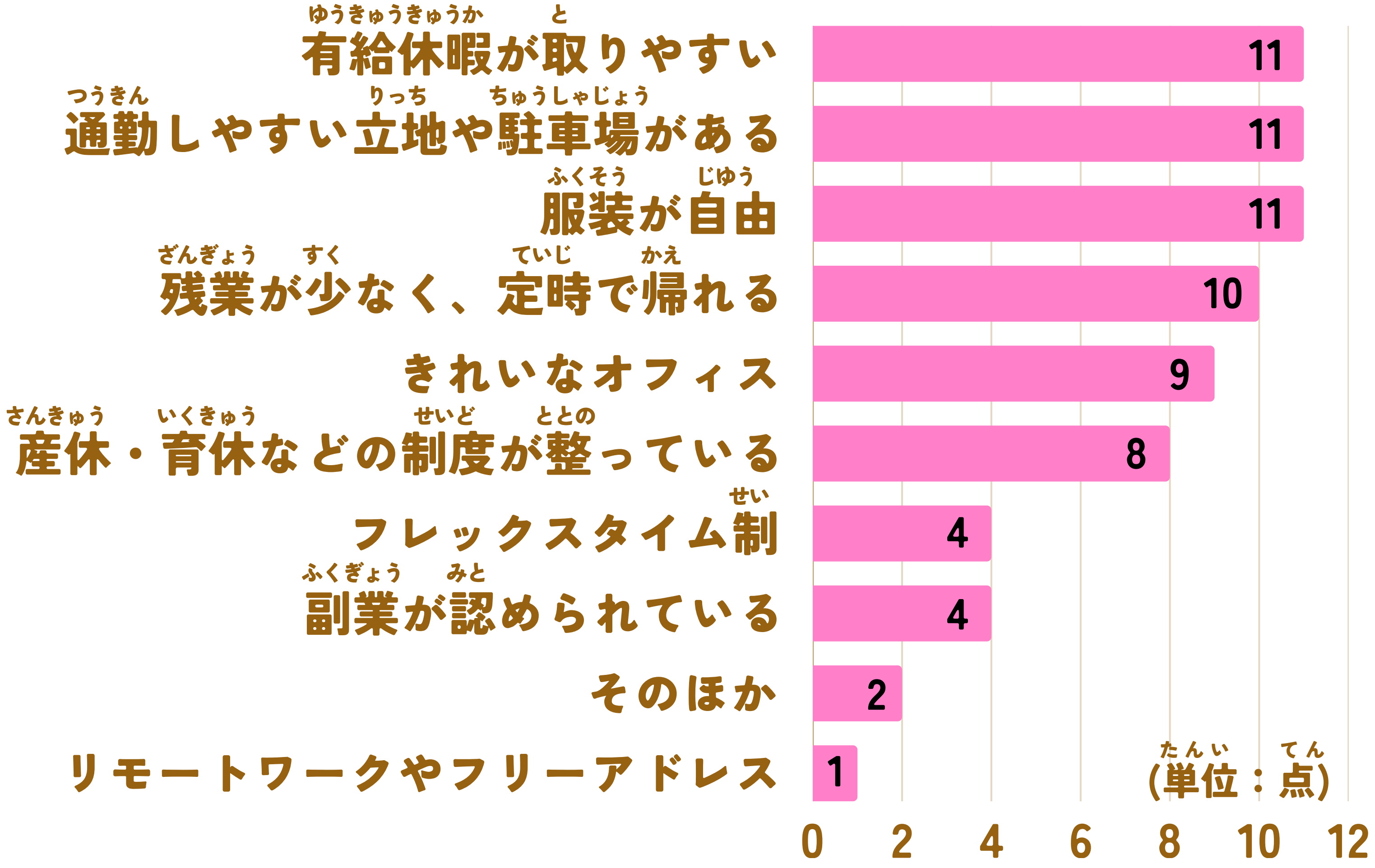
### ①群馬県内で働くとしたら、次の選択肢のうち、何に魅力を感じますか？（1位～3位を選んでください）




### ②群馬県内に増えて欲しい仕事はありますか？（1位～3位を選んでください）




### ③どのような職場環境であれば、群馬県内に就職したいと思いますか？（1位～3位を選んでください）




※この質問では、集計にあたり1位の回答を3点、2位の回答を2点、3位の回答を1点と点数化し、合計得点を多い順に並べています。

# 分野別項目：不登校の経験があるこども・若者

対面による座談会（意見交換）を実施しました。

【参加者】

不登校の経験がある高校生～大学生　８名

居場所づくりを行う団体の職員

【意見交換のテーマ】

誰もが実現できる　若者の社会参加の支援について

～不登校・ひきこもりで終わらない、自分なりに進む道を見つけるために～

【参加した感想（原文のまま抜粋）】

- 不登校者にしか分からないことが多いと思うので、このような取り組みは非常に良いと思う。
- 自身とは全く異なる経験をしている人と会話するので、新しい気づきや発見などを得ることができました。
- このような取り組みは、参加する高校生にとっても大きな成長のきっかけになるのではないか。
- 直接お話できたのがとても良かったです。

# 分野別項目：不登校の経験があるこども・若者

## 1.学校に通っていない間の不安や相談相手について

【いただいた意見（発言を原文のまま抜粋）】

- 「このまま休んだら、将来どうなるのだろう」という不安があった。親にヒステリックに当たってしまうことがあって、親にも相談できなかった。
- 親には相談できないし、担任は合わない。でも、部活の同級生に相談していた。
- 学校を休んでいる自分の何がいけないのか、「世の中の外にはみ出しちゃっている」と感じていた。最終的には不登校を話せる友達ができて、相談室に行くようになった。
- 不登校の期間には２つの期間があると思っている。１つ目は回復のアルファと、２つ目は回復した後の改善のプロセス。自分は、回復が終わった時に、改善していこうというプロセスを逃してしまった。ダラダラと生活を続けていて、もうどうしようもない、戻せないなっていう感じがあるけど、このままいくしかないのかなと。
- 体調のことは父親が理解してくれて、通院先を一緒に探してくれた。通院して薬を飲みつつ、早寝して朝起きられるように頑張っていた。そうしないと大学にも行けないし、大人になって困ると思ったから。
- 悩み事を一人で考えてしまうタイプなので、周りの人や親には話せなかった。当時ゲームをやっていたので、SNSでつながった人たちには少し言いやすかった。

# 分野別項目：不登校の経験があるこども・若者

## 2.若者の居場所に必要なこと・どんな支援があったらいいか

【いただいた意見（発言を原文のまま抜粋）】

- 実際に行く居場所より「心の居場所」がすごく大事。ユース世代とか色んな人がいて、ただいられる場所じゃなくて、話が生まれる場所、関係性が深くなる場所がいい。
- 相談相手が自分の事情を把握してくれると、「分かってくれている」と思えて嬉しい。年齢に差がある相談相手よりは、同年代の人たちが相談や愚痴を聞いてくれるような場所があったら行ってみたい。
- 年齢の近い人に、自分の気持ちを打ち明けられるっていうのはすごく大事だと思う。それが自宅でできたら魅力的。
- 既存の居場所を、居場所がない人にいち早く知ってもらわないといけない。居場所を知ってもらうための宣伝をもっとすべき。
- 自分に合ったフリースクールがわかりやすい、または紹介してもらえたらありがたかった。
- 心療内科の先生など、家族や身内以外の、信頼できる第三者の大人に話せる環境は欲しい。誰でも良いわけではなく、ちゃんと自分の状況を理解してくれている人か、似たような経験のこどもを多く見てきた人と話せる場を作れたら、安心する人もいるのではないか。
- 自分は通信制高校が居場所になった。ただ不登校だった当時は、通信制高校や精神科に対してネガティブなイメージがあった。そういうイメージを払拭して、堂々と話せるようにしてほしい。

# 群馬県が行うこどもに関連する様々な取組について、伝えたい意見

※原文のまま（外国語で回答していただいた意見は、日本語訳しています）

県主導で不登校支援情報を一元化したもの(情報もできる限り載せる形で)を作っていただけると嬉しいです。

がっこうであげぱんが出なくなったのでもう一どでてほしい。

良いアンケートだと思います。
これに取り組むことで、私のような生徒の生活の質を向上させられることを願っています。

ご協力ありがとうございました